



OCHI SALES SUPPORT

OCHI 地盤サポート制度

住宅

非住宅

地盤の話、誰がしますか？

家を建てる際、地盤の調査結果を
建物の基礎設計に反映させる業務は、
設計者が責任を持って行わなければなりません。
これは、建築士法でも「設計者が行う設計行為の一部」として
位置付けられています。
より快適で意匠性の高い住宅が求められる現在、
地盤の話も設計者がお客さまに
話さなければなりません。



ご不明点については、越智産業までお問い合わせ下さい。

お問い合わせは



越智産業株式会社

■本社 〒810-0071 福岡県福岡市中央区那の津 3丁目 12-20
TEL.092-711-9714 FAX.092-235-9720
■ホームページ <http://www.ochisangyo.co.jp/>

●カタログ記載内容 / 2021年 10月現在 ●本カタログに記載しております内容は予告なく変更される場合があります。



サービスのご案内

■ 地盤情報サービス ■ 地盤調査 ■ 調査解析 ■ 補強工事 ■ 補償対応

地盤調査

解析・判定

複数の協力会社へ
見積り依頼

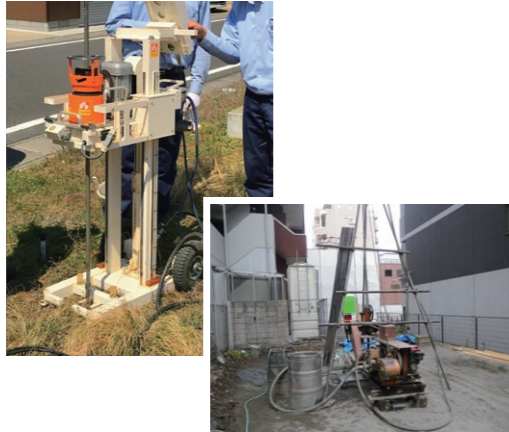
補強工事

保険対応



調査

専門家が、立地条件や地形を元に、地盤の強さを調査いたします。

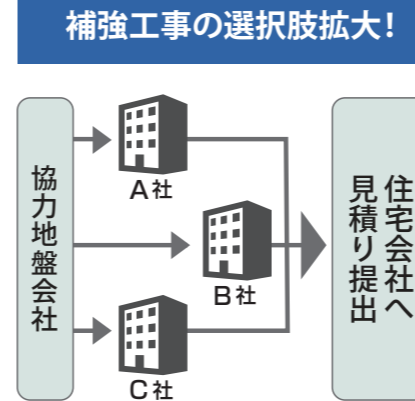


調査実施日の翌営業日中に速報配信！



複数の協力会社
から見積り提出

地盤補強工事が必要な場合、条件に合う最適な工法をご提案します。



自動的に複数社・複数工法の見積りを提供！



保険対応

- 1 POINT 傾斜角による免責なし！
- 2 POINT 擁壁も対象です！
- 3 POINT 被保険者は三者！
住宅会社、OCHI地盤サポート、地盤会社



万が一の不同沈下の際も安心！

様々な工法を選択できるのも『OCHI 地盤サポート』の強みです！

一般工法 一般的に使用されている工法です。

残土料 できる	表層地盤改良 浅層混合処理工法
残土料 できる	柱状地盤改良 深層混合処理工法 杭径：φ600(500~800)
残土料 なし	小口径鋼管回転圧入工法 小口径鋼管杭状地盤補強 杭径：φ101.6~139.8が主流



残土料 なし	環境パイルS工法 木材を用いた複合地盤補強工法 杭径：φ120, φ140
残土料 ほとんどでない	ピュアパイル工法 セメントミルク置換杭状地盤補強工法 杭径：φ200程度
残土料 できる なし	エコジオ工法 砕石を用いた複合地盤補強工法 杭径：φ320, φ420
残土料 なし	RES-P工法 細径鋼管を用いた複合地盤補強工法 杭径：φ48.6
残土料 なし	CPP工法 先端翼付き鋼管杭状地盤補強工法 杭径：φ48.6

※残土量「なし」の場合であっても、施工状況により残土が発生する場合がございます。

住宅 地盤サポート

調査・地盤補強工事はもちろんワイドカバーの地盤補償やその他サポートメニューもご用意しています。

サービス料金とおトクな割引について

料金一覧

年会費・入会費無料

商品項目		価格(税別)
📢 地盤情報サービス		無料
地盤調査のみ <small>※調査はSWS試験(5ポイント)</small>		30,000円
調査 + 保険対応セット <small>※調査方法はSWS試験になります。</small>	20年タイプ	60,000円
	<small>※瑕疵保険利用割引適用</small> 20年タイプ	瑕疵保険とセットでおトク割 55,000円

※表面派探査も地盤会社ビュックにて行っております。
調査料: 60,000円(税別)(保証別途)です。詳細は越智産業までお問い合わせください。

**オトク
割引**
OCHI地盤サポート
瑕疵保険と
セットでおトク割
通常 60,000円の所
➔ 55,000円!

越智産業経由で住宅あんしん保証「あんしん住宅瑕疵保険(新築)」を申し込んだ物件に対し、地盤調査(20年補償付き)の割引を適用します。

お施主様向け 地盤補強工事発生リスクレポート&概算見積もり 地盤情報サービス



① 地形分類判別

地形毎に異なる地盤の特徴や、どのような性質の土が堆積しているのか把握することができます。

③ 液状化・活断層分類判別

ハザードマップを調べることで過去の液状化の状況や近隣の活断層を表示。

⑤ 地盤補強工事発生のリスク

地形分類や過去の実績及び近隣データ、地盤会社へのヒアリングをもとに補強工事発生リスクを推測いたします。

② 地形の特徴

各地形がどのような場所に形成されるのか、各地形の特徴をご紹介します。

④ 近隣の地盤データ診断

建築地と同一地形にある近隣のSWSデータとボーリングデータです。

地盤レポートをお客様毎の個別対応でご提出いたします。

**無料
サービス**

充実の地盤補償

万が一の事故・賠償責任発生時に適切な賠償対応が可能な仕組みをご用意しております。

特徴

- POINT1 傾斜角による免責なし!**
不同沈下の傾斜角による免責はありません。
- POINT2 擁壁も対象です!**
対象地盤には既存の擁壁も含まれます。
※擁壁自体の補償を行うものではありません。
- POINT3 被保険者は三者!**
住宅会社(地盤業務発注者)、地盤会社、在住ビジネスの三者が補償対象です。

■ 補償の範囲/支払い限度額

① 対象建物の修復作業
5,000万円(上限) ※1事故につき

② 対象地盤の修復作業
2,000万円(上限) ※1事故につき

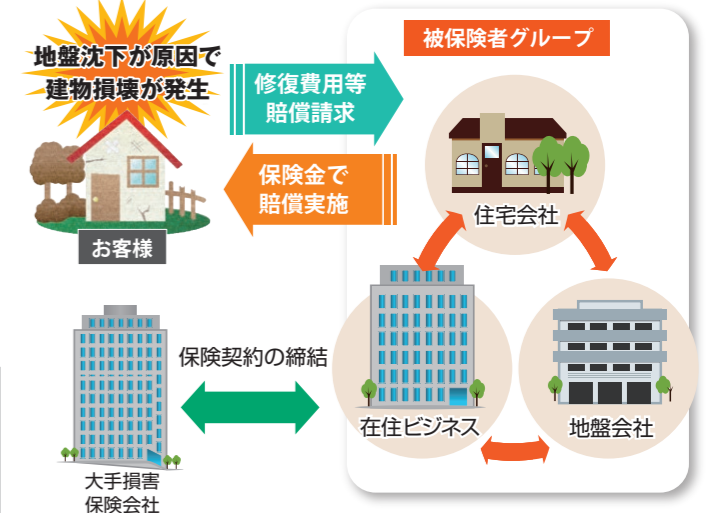
①、②合計で 5,000万円(上限) ※1事故につき

《さらに別枠で》

- ◆事故現場保存費用 200万円
- ◆事故原因究明費用 200万円
- ◆訴訟対応費用 1,000万円

保険期間
工事期間 + 引渡日から20年間

■ 補償制度のしくみ



不同沈下上乘せ特約

国土交通省の指定保険法人である住宅あんしん保証「あんしん住宅瑕疵保険」の特約。地盤から建物まで一体の保険を実現できます。

POINT

- 瑕疵保険の支払限度額が5000万円まで拡大
- 引き渡しから10年の保険対応

あんしん住宅 瑕疵保険では 不同沈下 事故を補償します。

しかも

不同沈下上乘せ特約の付帯で
戸建住宅の場合
支払限度額 **5,000万円** (免責金額 10万円)

新築向け瑕疵保険とセットで
(オプションで付帯できる特約)

敷地調査 + 役所調査

調査受付から報告書作成まで
ワンストップでサポートします。

POINT

- ご希望のお日にちにアジャストメント
- ハイクオリティな報告書納品
- 建築士によるダブルチェック



沈下修正工事

さまざまな原因から傾いてしまった建物を、もとの状態に沈下修正します。

<工法例>

- アンダーピニング工法
- 薬液注入工法
- 土台上げ工法
- 耐圧板工法
- 鋼管杭圧入工法 など



既存住宅向け

非住宅 地盤サポート

「事務所」も「学校」も「倉庫」も構造種別・建物用途問わず地盤の不同沈下による建物修復費用を補償対応します。



木造も



RC造も

構造種別
問わず！



工場も



学校も

建物用途
問わず！

基本調査内容及び追加ポイントについて

— 地盤調査 — ※1

SWS試験 ※2

¥30,000(税抜)/1物件(5ポイント)

ボーリング調査 ※3

¥150,000～(税抜)/1ポイント

— 保険対応 — ※4

20年

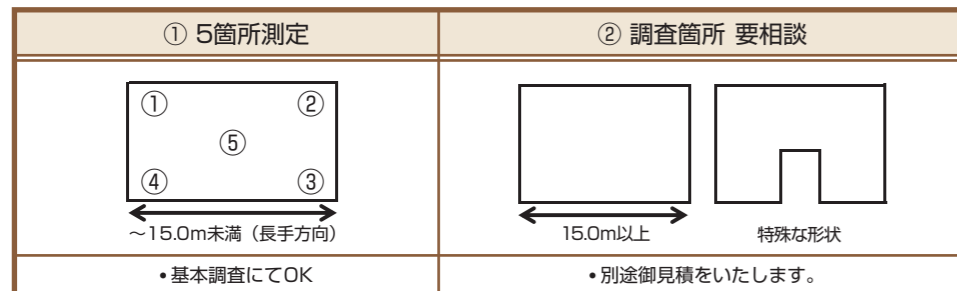
¥30,000(税抜)/1物件

+

※1 必要地耐力が50kN/m²を越える建物について、ボーリング調査を選択するケースが多くなります。 ※2 原則調査箇所は5箇所とし、調査位置は計画建物配置の四隅と中央で実施いたします。
※3 調査位置は計画建物配置の四隅より原則半径1.0m以内で測定できるものといたします。 ※4 [建築する建物：建物高さ16m以下・地上4階以下]の物件が対象となります。

《SWS試験》調査箇所の追加が必要なケース

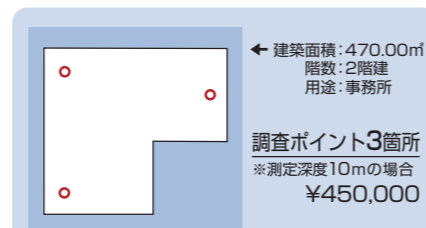
・基本の5箇所の調査で判定が困難な大型建物は、調査箇所を追加する必要があります。



《追加ポイント》 ¥5,000(税抜)/1ポイント

(一例)

《ボーリング調査》調査費用参考例



※ボーリング調査費用に関する参考例となります。建築面積・構造種別等により、調査方法や調査箇所は設計者の指示により決定します。参考例と一致しない場合がございますのでご了承下さい。

地盤補償

非住宅物件も構造種別・建物用途問わず充実・安心の賠償体制。

補償対象

高さ16m以下、地上4階以下の建物なら、
構造種別・建物用途問わず不同沈下による
建物修復費用を補償。

基礎、地下室付属設備および増改築部分も含まれます。
将来的な転売にも対応します。

■ 補償の範囲/支払い限度額

① 対象建物の修復作業

5,000万円(上限) ※1事故につき

② 対象地盤の修復作業

2,000万円(上限) ※1事故につき

①、②合計で5,000万円(上限) ※1事故につき

全部
OK



《さらに別枠で》

◆事故現場保存費用
事故原因究明費用
200万円

◆訴訟対応費用
1,000万円

《保険期間》

工事期間
+
引渡日から
20年間

地盤補強工事

OCHI 地盤サポートなら物件・地盤データに適した様々な工法でご提案が可能です。

非住宅木質化にご提案

オススメ
工法

環境パイル工法

— 木材で支える地盤補強工法 —

丈夫な家は地盤から
木で支える『環境パイル工法』

環境パイル工法とは、木材で家を支える「環境にやさしい地盤補強工法」です。高品質な防腐防蟻処理を実現することで、「腐食しない」「縮まない」「高耐久」を実現しました。古来からある伝統工法ですが、支持力機構を明らかにすることで、第三者認証を取得しております。

同じ、高品質な品質と性能を証明する第三者認証を取得しております。

《環境パイル工法》
建築面積：100㎡ 建物高さ：10.07m 階数：1階 用途：事務所
取得第三者認証：2017年03月12日

《環境パイル工法》
建築面積：100㎡ 建物高さ：11.29m 階数：2階 用途：事務所
取得第三者認証：2017年03月12日

2種類の材料形状で用途を取っています。

テーパー状(皮むき)タイプ
腐食しない木材
防腐防蟻処理
断面が丸く安定
※断面が丸く安定
※断面が丸く安定

ロータリー(円柱加工)タイプ
テーパー形状の木材を
断りやすい
※断面が丸く安定
※断面が丸く安定



環境パイル工法は、
メリットがたくさん！

- ・音が静か
- ・残土がでにくい
- ・腐食しない長期耐久性
- ・間伐材の使用でCO2削減に貢献
- ・短工期・ローコスト



環境パイル工法は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



協力会社：高原木材株式会社